



3年生も凄いけど……

3年生がみせた合唱コンクールや修学旅行の取り組み。校則検討委員会の取り組みや、最後の提案にあった放課後の勉強会の提案など素晴らしいものがありました。

ところで2年生も凄いんです。なんと、「クリスマス演芸大会」を自分たちで企画・運営をやってしまったのです。これまでいろんな学級を見てきましたが、学級でこれだけの取り組みはあまり

見たことがありません。凄いです…。それから1年生も凄い……。生徒会執行部に16人中10人の生徒が立候補してくれました。現生徒会のメンバーが面接をしました。さらにこれからの知念中学校が楽しみです。



2学年 学級レク クリスマス演芸大会

過去も他人も変えられる

私の好きな言葉で「過去と他人を変えられないが、未来を変えることはできる」というのを覚えていますか……。

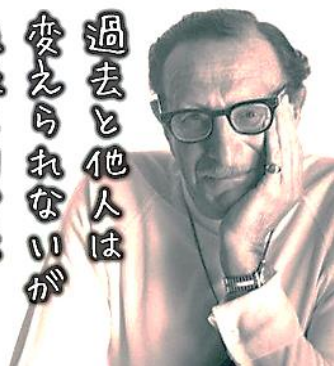
その言葉が好きな理由は、大人も子どもも生きていく中では、成功もあれば、失敗もあります。どちらかと言うと失敗の方がはるかに多いのではないのでしょうか。私の人生も失敗だらけです。

過去にとらわれず未来に向かって「今」できることをがんばることが大切……。きずく気づき築く

私自身を含め、人は他人のせいになしたり、後悔したりしがちです。

変えられない「他人」や「過去」に執着するより、変えることのできる「自分」と「未来」をどうするか、考えていくこと。そんなポジティブな思考で前向きに考えるというのが好きです。

過去と他人は
変えられないが
未来と自分は
変えられる



心理学者：エリック・バーン

でも最近「過去と他人は**変えられない**」から「過去も他人も**変えられる**」と考えるのです。まず「過去」についてですが、起こってしまった出来事は「事実」として変えることはできません。でも、その出来事が、自分にとってプラスになる考え方や、気づきや学びをくれて、自分の未来の行動にプラスの反映ができたなら、過去のマイナスな出来事のとりえ方を変えることはできると思うのです。そう考えると、「**過去は変えられる**」と思ってもいいのではないのでしょうか。

次に「**他人**」も変えることができないのでしょうか。

他人は、私たちがいろいろな言葉かけやアドバイスをしたところで、その100%その通りになるということはありません。そうすると、「**他人は変えられない**」という寂しい結論になってしまいます。でも、実際のところは、人は環境によって変わっていくし、成長もするのです。自分にとって嫌な存在のあの人が、日々成長しているのです。私たちが自分以外の誰かのために何かしらの思いを持ちながら接していれば、何かの影響が及ぶ可能性は高くなると思うのです。

だから「**他人は変えられない**」ではなく、もしかしたら自分の接し方ひとつで変わるかもしれないという前向きな期待を持って過ごしていた方が良いのではないかと考えるのです。そこで私の好きな言葉を勝手にニューアルしました。

「過去と他人は変えられないかもしれないけれど、変えられるかもしれない、もちろん未来と自分も変えられる」。

2学期 振り返り Photo album2

知念 綱引き

10月

地区駅伝大会

11月

調理実習

3学年 地区音楽発表会

校内合唱コンクール

総合文化発表会

2学年 PBL 商品開発

3学年 修学旅行

演芸大会
南城市立知念中学校

12月

1学年 ダンス派遣授業

新人大会 野球部

新人大会 バドミントン

バスケ 高嶺・知念合同チーム

新人大会 バレーボール部

環境教育の日 ワークショップ

バスケ 男子

美術部 スケッチコンテスト

美術部 アートコンクール

10月・11月・12月を写真で振り返ってみました。1年で一番長い学期でした。
いろいろ振り返って三学期を迎える準備をしていきましょう。残念ながらサッカーの写真がありません。サッカーも6人で具志頭・佐敷中の合同チームで頑張っています。試合があるときは教えてくださいね。